

JOCジュニアオリンピックカップ
第33回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
要 項

- 1 主催 (財)日本スケート連盟
- 2 主管 (財)北海道スケート連盟
- 3 運営主管 帯広スケート連盟
- 4 後援 北海道 北海道教育委員会 帯広市 帯広市教育委員会 (財)帯広市文化スポーツ振興財団
- 5 期日 平成22年2月12日(金)～14日(日)
- 6 会場 開会式・抽選会 帯広東急イン
帯広市西1条南11丁目2番地 TEL:0155-27-0109
競技・閉会式 明治北海道十勝オーバル(帯広の森屋内スピードスケート場)
帯広市南町南7線56番地7 帯広の森運動公園内 TEL:0155-49-4000
- 7 日程
- | | | |
|----------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月11日(木) | 開会式、抽選会 | 14:00 |
| | 公式練習 | 9:00～11:30(スタートトライアル10:30～11:30) |
| 2月12日(金) | 公式練習 | 7:30～9:30、競技終了後1時間 |
| | 競技開始 | 10:00 ①AR男子500m ②AR女子500m
③AR男子3000m ④SP女子500m
⑤SP女子1000m |
| 2月13日(土) | 公式練習 | 7:30～9:30、競技終了後1時間 |
| | 競技開始 | 10:00 ①AR女子1500m ②AR男子1500m
③AR女子1000m ④SP女子500m
⑤SP男子500m ⑥SP女子1000m
⑦SP男子1000m |
| 2月14日(日) | 公式練習 | 7:30～9:30 |
| | 競技開始 | 10:00 ①AR女子3000m ②SP男子500m
③AR男子5000m ④SP男子1000m
⑤女子チームパシュートレース(6周)
⑥男子チームパシュートレース(8周) |
| | 閉会式 | 競技終了後 |

※参加者数により、競技順を変更する場合がある。

- 8 競技方法
- (1) 本連盟スピードスケート競技特別規則による。
 - (2) トラックは、本連盟スピードスケート競技特別規則に規定された400m標準ダブルトラックCタイプを使用する。
 - (3) 女子、男子とも、総合競技部門・スプリント競技部門の2部門とし、それぞれ4距離の総合得点競技とする。
 - (4) チームパシュートレースを、第3日目の選手権競技終了後に行う。
 - (5) 組合せ及びスタート順
 - ア 各部門女子、男子とも、第1距離、第2距離は当該距離の前年度タイムランキングに基づき上位から組み合わせる。タイムランキングが同一の者は抽選により上位者を決定する。タイムランキングのない者は下位者とし、抽選によりランク付ける。
 - イ 各組のレーンは、ランクの上位者をインレーンとする。組のスタート順は、ランキング順とは逆に下位の組からとする。
 - ウ 第3距離、第4距離の組合せ及びスタート順は、ISU規則第240条3項、4項、

第242条、第266条、第275条を適用する。

エ チームパシュートレース

- ① トラックは、シングルトラックとし、両ストレートの中央からの同時スタートとする。
- ② 総合競技部門の女子1500m、男子3000mの結果に基づき、エントリーされたチームを次のように順位付ける。
 - ・当該距離に2名以上出場しているチームは、チーム内2位のスケーターの順位。
 - ・当該距離に1名のみが出場しているチームは、そのスケーターの順位。
- ③ 各組のスタートは、ランクの上位チームをフィニッシュライン側とする。組のスタート順は、ランキング順とは逆に下位の組からとし、最上位のチームを最終組とする。
- ④ チーム内3位のスケーターのフィニッシュタイムに基づいて順位を決定する。

以下、ISU規則第243条4項及び261条1項参照

- 9 表彰 (1) 女子、男子とも各部門の総合選手権者にカップ(持ち回り)、賞状及びメダルを、2位及び3位の者に賞状及びメダルを授与する。4位から6位の者に賞状を授与する。
(2) 各部門とも、各距離1位から3位の者に賞状及びメダルを授与する。
(3) 女子、男子ともチームパシュートレースの1位から3位のチームに賞状を授与する。
- 10 参加資格 (1) 本連盟の競技登録者で、**1990年7月1日以降、1995年6月30日以前**に生れた者。
(2) バッジテストA級以上の者。
(3) チームパシュートレースは、総合競技部門にエントリーしている同一チームで4名編成とし、出場は3名とする。
- 11 参加申込 (1) 本連盟ホームページ「競技会オンライン申込サイト」により申し込むものとし、サイトから印刷した(副)に必ずバッジテスト認定証の写しを添えて、下記申込先に送付するとともに参加料を振り込むこと。
URL: <https://www.skatingjapan.jp/myac/>
(2) 遅延した申込みは認められない。また、締め切り期日までに参加料の納入がない場合は本競技会への出場を認めることができない。納入された参加料は、いかなる場合も返還しない。
(3) 本競技会の申込締切日以降に開催された競技会において参加資格を取得した場合は、所定の申込書(正)(副)に記入の上、当該競技会終了翌日までに参加申込手続きを完了すること。
(4) 申込締切日 平成22年1月20日(水) (副)が必着
(5) 申 込 先
(副) 〒080-0020 帯広市西10条南28丁目27 佐々木通喜 気付
第33回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会事務局
TEL/FAX: 0155-48-2957
(正) 〒150-8050 (財)日本スケート連盟 (申込締切日以降の追加有資格者のみ)
(6) 参 加 料 1名につき8,000円(銀行振込みとする)
銀行振込先: 北海道銀行 帯広支店 普通預金 1241536
名義: 帯広スケート連盟 会長 萩原一利 (ハギワラ カズトシ)
(7) 中学生は、親権者の承諾書とスポーツ傷害保険書(写)を(副)の申込書に添付すること。
(8) 参加申込みにかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関係法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。
- 12 宿泊 各自手配すること。
- 13 その他 (1) 競技会中の事故等については応急処置のみとし、責任は負わない。参加者はスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
(2) 本競技会総合部門は、2010世界ジュニアスピードスケート選手権大会派遣選手選考競技会を兼ねる。